

対話カード：E S Dティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前： 奈良教育大学附属中学校・吉田 寛

---

実施日： 2020年6月29日（月）

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

河野先生の講義で示された「教師知識伝達型の“行動主義”“認知主義”から、学習者中止の“構成主義”そして“社会構成主義”」について、ブレイクアウトルームでさまざまな先生と意見交換できて勉強になりました。

「基盤となる個別の知識があるからこそ、見方・考え方を養うことができるのではないか」ということも話し合いの際に出たことから、単純なオープンエンドの終わり方ではなく、きっちり授業者が論点を把握したうえで、授業の後半部分に、そこまでの学習で獲得した知識を活用して、自分の言葉で語る子どもたちの対話を促していく必要があると感じました。そのためには、やはり「魅力的な教材」、そして「教材研究」、「質の高い問い」などが必要とされることから、日頃から子どもたちのE S D的な多様な見方を育てつつも、授業者自身もE S D的な視点で教材研究にあたっていかなければならないと再認識しました。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前： 奈良市立都跡小学校 三木 恵介

---

実施日： 6月29日（月）

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

初めてのESDティーチャーオンライン交流ということで、河野先生の授業実践を軸にESD学習の在り方について考えた。その中で響いた事柄は、やはり「知識の質」という話題であった。そして「知識の質」を考える際に「概念的な知識」と「価値的な知識」は分けて考えるべきだという、太田先生の提言が非常にうなずけるものであった。この「概念的な知識」と「価値的な知識」をコロナ禍における現状の中で、どのように対話的な学びにつなげていくかについて考えてみた。

クラスの中で対話的な学びができないでいる現状で活用していきたいのは、やはりZoomをはじめとしたオンライン交流である。まず「概念的な知識」についてはクラス内の授業で学習する。そこで個別の見方・考え方をはたらかせ、初期の「価値的な知識」を子どもたち一人ひとりが形成する。それを元にオンラインで他校の児童（場合によってはとなりのクラスでもよいと思う）と個別の「価値的な知識」をぶつけ合う。そこで子どもたちは、別の新鮮な「価値」と出会う。次に、意見交換を受けてシンキングタイムをとることで、子どもたちは第2の「価値的な知識」を形成する。そして再度、考えたことを交流し、ふりかえり（第3の「価値的な知識」）をおこなう。このように展開していくことで「知識の質」は向上していけるものと考え

限られた対話しかできない現状だからこそ、指導者も学習者も効率的かつ本質的な交流の在り方を模索していく必要があると考えさせられた本日のオンライン交流・研修会であった。

○次回の交流会のついて

コロナ禍における実践的で対話的な学習手法について交流したい

対話カード：ESDティーチャープログラム

所属・お名前： 奈良市立朱雀小学校

---

実施日： 2020年 6月29日 月曜日

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

・本日の学びや気づき

河野先生の研修、「これな～に？」では、誰にでも通用して間違いになりにくい答え（ペン）とそれぞれの文脈で変わる答え（プロッキー、太いペン、赤いペン）を解説していただきました。先生が考える2つの知識について、客観的で普遍的な「知識は伝達するもの」と相対的な「知識は対話の中で作られるもの」を理解することができました。

知識の獲得についての議論は、ついていくのがやっとなりで、私にはレベルが高い内容だったと思います。知識をある程度獲得しているから見方・考え方が働くという意見。見方・考え方を働かせることで将来も活用できる知識の獲得がなされるという意見。派生した意見として、知識は学習者に安心感を与える効果があるなど、交わされる内容のレベルが高く、得るものがとても多かったです。現在は、限られた授業時間数、制限された学習活動を余儀なくされています。その中でも「話し合いのための話し合い」を考え実践されていたり、話し合い以外の学びとなるツールや方法を模索されていたり…新しい学習に突き進む印象を受け、とても刺激的でした。「教科書を越えよう」という発想は、教材の研究の甘さを痛感した言葉になりました。次の学級通信のネタにします。

・考察

研修会を振り返ってみると、私にとっての今日の最大の学びは、今後実践したいことや学びたいと思うモチベーションの向上だと思っています。楽しいことに飢えている私は、研修会で学ぶ楽しさ、実践の楽しさという教師のやりがいを再確認しました。コロナの状況で急ピッチに進められているオンラインを対面授業で生かせないかと考えていたので、オンラインと対面学習のハイブリッド授業を、多角的多面的な見方・考え方を働かせる授業へと昇華したいと思いましたし、その可能性を感じています。また、反転学習も効果的に活用できるのではないかと考えています。

次回の研修会がとても楽しみです。ありがとうございました。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前：奈良教育大学次世代教員養成センター 杉山拓次

---

実施日：2020年6月29日

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

実践事例を通じて、ESDの学びがどのように進められているか理解できたが、「本当にそんなにうまくいくのだろうか」という疑問があった。意見交換の中で出てきた「知識」をどのように捉えたら良いのか、ということについて、全体の意見交換の中で様々な意見が出され自分自身の思考も整理することができた。

知概念的知識（普遍的な知識）と価値的知識（主観を伴う知識）という整理の仕方が非常に納得できた。一つの事実（概念的知識）に対して、多様な捉え方、考え方があることを踏まえて、子どもたちの考えを引き出していく。また、多様な捉え方、考え方があることを前提として、自分自身が伝えたいことを整理することができるのではないかと感じた。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前： 奈良教育大学大学院、奈良県立畝傍高校 谷垣 徹

実施日： 第1回 2020年6月29日（月）

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

### 本日の学びと考察

- 河野先生が示してくださったESDの全体像で、これまで個別に考えていた【ESDの視点（持続可能な社会の構成要素）】【ESDで重視する能力・態度】【ESDで育みたい価値観】のつながりを体系的にとらえることができた。  
→またその根底には【子どもたちの既存の生活概念や価値観】があること、それらを相互に交流させることを通して互いの「あたりまえ」を問い直すことになる、そこから新たな価値観が生まれるということ意識したい。
- 今回の学習指導要領の改訂でよく言われる「見方・考え方」は働かせるものであって、養う・獲得するものではない。これからあくまで視点・方法であって、既存の知識や他者との交流などを通して得た知識をもとに、つなぎ合わせたり、判断したりするために働かせるものである。
- 【概念的知識】と【価値的な知識】は区別して考えるべきである。
- 答えのない世の中だからこそESDが大事だ！本当に考えようとする子どもを育てないと。そのためには基盤となる個別の知識も必要！（これって、ESDを実践できる教員に必要な資質能力の「教師としての基盤的力量」や「SDに対する理解」と同じ？）
- 子どもたちが既存の知識や経験など（その人なりの知識に根付いた見方・考え方）を、目の前の事実に対してぶつけ、そこに対話が生まれることで、概念的知識は生まれる？
- そもそも概念的知識とは…？

### 次回に学びたいこと

- 『知識』について深く考える機会がほしい。「事実に基づく知識—概念的知識—見方・考え方」「概念的知識—手続き的知識」など、知識に関していろんな構造や対立が議論されている。分からないことがたくさんあるので、これらを一度整理して、ESDで重視したい「知識」とは？持続可能な社会づくりに必要な「知識」のあり方は？などを考えてみたい。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前： 檀原市立金橋小学校 竹田 隼也

---

実施日： 6月29日

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

河野先生、ありがとうございました。

「見方・考え方」の捉え方、「知識」の捉え方を変えることが、学習を変えることに繋がるという風に解釈しました。

知識は普遍的なものという考え方が当たり前のようになっていました。しかし、お話を聞かせていただく中で、知識は状況によって変わるということが少しずつイメージできてきたように感じています。

質問タイムの中で、「概念的な知識」と「価値的な知識」という話がありましたが、どちらも大事だが、「概念的な知識」だけで対話をしようとする、深まりがなく、盛り上がらない授業になる。その一方で、「概念的な知識」に子どもそれぞれの生活経験などから考え出された「価値的な知識」を対話することで、子ども同士が互いに根拠を持って話し合うことができ、葛藤が生まれたり、深まりが生まれたり、考えが変わったり、納得したりしていくのではないかと考えました。そういう対話ができれば、子どもたちは対話の中で見方・考え方を働かせるので、力がついていくのではないのでしょうか。

私自身、そのような授業はできていませんが、子どもが「価値的な知識」を互いに交流できるような授業づくりをしたいと考えました。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前：平群町平群北小学校 中澤哲也

---

実施日：6月29日

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

・これまで「知識」をひとかたまりで捉えていたのが、「概念的な知識」と「価値的な知識」を分けるように意識して授業づくりや、活動を行うことの良さに気づいた。

・答えのない世の中になったからこそESDは大事であり、なんでもかんでも葛藤せずうのみにするのではなく、「ほんまにそうか？」と考え直せる子どもを育むようにしたい。

・知識の捉え方は人それぞれでありそのズレを「対話」のきっかけにすると、主体的な学びの時間になる。逆に言うと、そういった子ども同士のズレがないと、「対話」の意味がなくなり、話し合う意欲につながらないことにも気づいた。「あの子の考え聞いてみたい」と思えるような問い・ゆさぶりをかけられるようにしたい。

・質問

子ども同士が価値観のズレに気づき、対話を行い意見交流した後の活動は？

もう一度書かせる？言わせる？どのような活動が効果的か。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前：大牟田市立吉野小学校 島 俊彦

---

実施日：2020年6月29日（月）

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

河野先生の提案や参加者との対話を通じて、社会構成主義とESDの関係性について問い直すことができました。

社会構成主義の学習理論に基づく授業を志向することで、児童生徒に学ぶことの意義や価値を再認識させることができると感じました。対話を通して問題解決に生きて働く知識を他者と共に創り出していくプロセスを通じて、持続可能な社会の創り手に求められる児童生徒の資質・能力を育成することができると思いました。

社会構成主義に基づく学びによって、児童生徒がESDの構成概念を獲得する探究的な学びを実現することで、知識の質を高めることが出来ると考えます。ESDの実践レベルを高めていくためにも、社会構成主義の学習理論について学びを深めていきたいと思います。

また、次回のESDティーチャーオンライン交流・研修会では、「ESDを推進していくためのカリキュラム・マネジメント」について、参加者の皆さんと考えてみたいです。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前：片山 勝（長浜ユネスコ協会）

---

実施日：2020年(令和2年)6月29日

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

1 「対話」の重要性

コロナ渦で、大人も子ども“対話”の時間が少なくなったと思っていました

（自粛・休校など）。

“知識は対話の中でつくられるもの(と考える)” 相対的知識観（河野晋也先生のプレゼン）に納得しました。

2 オンラインのメリット

5月末から、オンラインでの会議・交流を開始。今回で8回目になりました。

今回、グループでの“対話”時間が設けられていて、“双方向観”がありました。

次回も、参加したくなりました。

先生方のこれまでの研修方法や働き方改革に活かされることを期待します。

考察はごめんなさい。

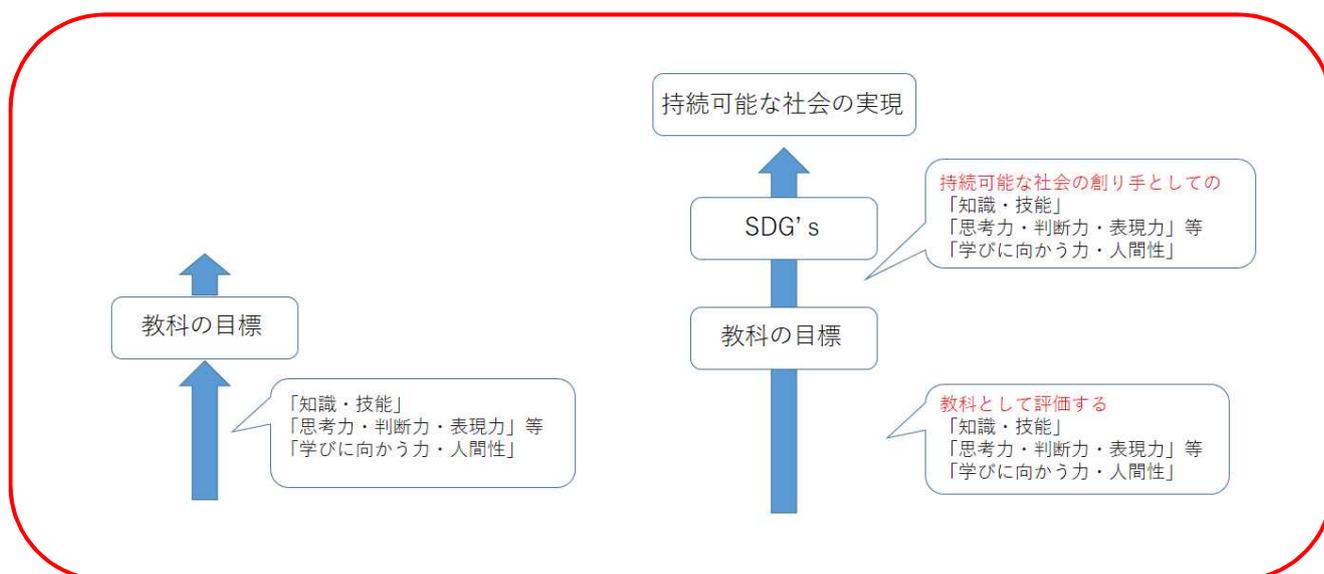
対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前： 福岡市立田隈小学校 遠入 哲司（福岡市国際教育研究会会長）

実施日： 令和2年6月29日

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

個人的には、河野先生の提案を聞いて、「SDG's」を位置付けた社会科とそうでない社会科との違いが明確になったと思いました。



「SDG's」を位置付けない社会科では、教科の目標が到達できればそれでよく、目標到達のために必要な知識を教え、様々なスキル使う活動を学習過程に位置付け、考え方の変容をみとれば、一応学習は終わりになり、教科としての評価を行います。

一方で、「SDG's」を位置付けた社会科では、目標到達後が大切になります。河野先生の学習であれば、「命や安全が大切」「資源を大切にすることが大切」等、学習における自分の考え（こだわり）が、のそれぞれの立場となり、生き方に影響を与えそうな気がします。学習後ですので、評価は難しいのですが、子ども達のこの後の学びの中で、「システムズシンキング」「クリティカルシンキング」「長期的思考」などの能力が見て取れたらさらに素晴らしいと思いました。

提案、お疲れさまでした。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前：(公財)五井平和財団 鈴木啓介

---

実施日：200年6月29日

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

教員でなく外部から学校や社会教育に携わる者として参加させていただいたことは大きな学びの連続でした。ブレイクアウトセッションでは、奈良地域の先生方3名の方と一緒させていただいたため、各学校特徴やクラス・生徒の状況に応じて、先生方が様々な工夫や取り組みをされていることを、改めて具体的に知ることができました。

また、「見方・考え方」と「知識」の連関性や、「概念的知識」と「価値的な知識」については、今まで漠然と捉えていた部分について、1つの考え方を学ぶことができただけでなく、教育の奥深さをとても感じました。

これらのことは、学校教育だけでなく、家庭教育や大人も含めた人間の成長においても大事な視点であり、これからも自問自答していくべき視点だと思いました。

教育学や教職に関する知識の無い私にとっては、参加された先生方の理解の半分程度しか、理解できておらず、足を引っ張っているような焦りもありますが、私だからこその視点や、何か少しでも先生方に提供できることはないか。を考えながら、学ぶだけでなく、少しでも先生方のプラスになれるよう、柔軟な発想で参加させていただければ、思っております。

対話カード：ESDティーチャーオンライン交流・研修会

所属・お名前： 大和郡山市立筒井小学校 ・ 高良 宗彦

---

実施日： 2020年6月29日

---

◇本日の学びや気づきとそれについての考察をお書き下さい。

本日はありがとうございました。先生方や河野先生のお話の中で、「基盤となる知識」についての見解が一番勉強になりました。学校教育の知識の教授の変遷から、現代の教育における知識習得プロセスについて、よく言われる対話や話し合いによって得る知識が重要であるということを知りました。私自身がその言葉を聞いたときに、「話し合いや対話の時に、相手が自分と同等かそれ以上の知識を持っていなければ学びは深まらない。その知識が教科書に書いてあることだ」と思っていました。しかし、今日の話から、「教科書が実生活から離れている場合もある」「概念的知識と価値的知識の違い」を知ったことで、「教科書に書いてあることが普遍的な知識ではなく、ただの一側面である場合もある」ということに気付かされました。これからは授業者として「教科書を疑う」ことをしながら、教材研究をし、授業を作っていかなければならないと思いました。

この研修では、全国の先生方と話すことができ、その土地土地の実態や、先生方の思いについて知ることができ、自分の中の視野が広がった気がしました。今日のように、ESDや、今まで当たり前と考えられてきた一つのトピックについて、いろんな方の意見を聞くことができる研修がしたいと個人的には思いました。本日はありがとうございました。

中澤 静男 から全員に: 07:05 PM

自己紹介タイム

①所属・お名前・最近楽しかったことをユーモアで紹介  
ひとり 1分

nakazawatetsuya から自分に: (プライベート) 07:16 PM

島くんがホストに参加許可してほしいって

自分から 中澤 敦子 に:: (プライベート) 07:24 PM

うまくいけましたか？

中澤 敦子 から自分に: (プライベート) 07:25 PM

ダウンロードの仕方がわからないので、とりあえず、聞くだけ・・・

中澤 敦子 から自分に: (プライベート) 07:40 PM

グループから外して

谷垣徹 (奈良教育大) から全員に: 07:52 PM

中澤先生！ミュート解除できますか？

nakazawatetsuya から全員に: 07:53 PM

ミュートを解除して

かホストが

解除してくください

また解除して

河野晋也 から全員に: 07:54 PM

(1)納得してる子もいるけど、ほんまに納得してない子もいるのでは？

自分から全員に: 07:54 PM

①納得したことの見極め

石田 通大 から全員に: 07:55 PM

海外の動画を見つけたときの心境は？

自分から全員に: 07:55 PM

ゴールありきの授業か途中変更か

河野晋也 から全員に: 07:56 PM

ぼくもミュート解除してほしいです。

自分から全員に: 07:59 PM

自分の言葉で説明できるかどうか

自分の当たり前をどれだけ見直すことができているか

資料は、最初は子どもの思考を深めることをねらって提示する

谷垣徹 (奈良教育大) から自分に: (プライベート) 08:00 PM

各自でミュート解除できるように設定しました！

自分から全員に: 08:01 PM

学習が進むにつれて、子どもが立ち止まると思われるポイントは予想しているが、予定変更するよ

石田 通大 から全員に: 08:01 PM

今でも、もらったネジを大事にしています。

自分から全員に: 08:23 PM

知識の質に関して どこをねらって授業づくりしているのか  
対話が制限されている中でどうするのか  
教えなければならない知識とは何か  
教科書に掲載されている知識は全て正しいモノとして伝えていいのか  
教科書の記述は、実際と違う場合がある  
子どもの教科書の知識に対する姿勢を考えてみよう  
教科書の記述は手がかり それから広げたり深めたりできる子どもを育てたい (河野)  
小学校社会の工業単元では、あまり重要でない記述が多い  
変化が激しいのだ 工業単元では教科書は古くなっている  
中学校社会 子どもに問いを考えさせる いい問いとはなにか? 教科書を知ることで納得する子ども  
いるのが事実  
教科書で納得するのでは残念 現実を見る  
子どもを育てたい  
教科書に対する自分なりの解釈の仕方は一人ひとり違うだろう。  
それを交流する上で対話は重要だ  
コロナなので書いたものでもいいのだ  
やりとりがあるからいいのだ  
話し合い活動はやらなければ 子どもたちに投げかけて考えさせる  
なんで手洗い、なんでアルコールが効果があるのかを  
話し合いをするための話し合いを使  
しよう 具体的な距離・方法・うつきない方法を考えてごらん  
子ども達が明るくなった  
自分で考える態度を育てる あたらしい当たり前を考えさせる  
会話なしの授業をするのが教員の課題になっている  
学習のまとめを三択にして投げかける そして話したい気持ちを高めている オンライン授業をする  
ことになる  
仲村 幸奈 から自分に:(プライベート) 08:24 PM  
中澤先生、父が帰ってきたので抜けさせていただきます m(\_ \_"m)グループでの話し合いでも言ったの  
ですが、教採の勉強で知識として詰めていただけだったものが繋がってめっちゃ勉強になりました!!  
お疲れ様でした!!  
自分から全員に: 08:24 PM  
自分で考える 契機としての三択  
自分から 仲村 幸奈 に:: (プライベート) 08:25 PM  
おつかれさん!  
自分から全員に: 08:38 PM  
多様な知識を共有するための「学びの共同体」の価値  
多面的な見方を育てる  
ポジティブな見方を育てる  
そこから新しい常識を考えていく  
不良品をつくらない 命・人権から考えるべきでは

命と資源

リサイクルは？ なぜ、しないのか？ リサイクルすると余計に

オープンエンドでいいの？

業者に売却。でも損はでる

損するけれども全部回収する理由は？

信頼もひとつに理由

不良品がでたときはリコールする 無料でなおす

企業にとって信頼は重要

谷垣徹 (奈良教育大) から全員に: 08:39 PM

【質問】

①個別の知識を明示的に教えていなくても、見方・考え方が備わっていれば、知識を問うようなテスト問題（従来型の入試問題など）にも対応できるのでしょうか。

②一方で「基盤となる個別の知識があるからこそ、見方・考え方を養うことができる」という考え方も…

知識なしで見方・考え方は養えるのか？もしくは、教室で教えなくても、家庭学習などで個別の知識は学ばせる？そのための授業づくりは？

自分から全員に: 08:57 PM

①見方・考え方を養えば、細かい知識は不要か？②知識なしで見方・考え方を養うことができるのか  
基盤となる知識がないと対話にならないだろう.何かの知識が必要だろう (大西)

根拠を持って話し合うこと自体が重要

見方・考え方とは「養うモノ」？ 着目ポイント

個別的な知識をつなぎ合わせて使える質の知識が重要

概念的知識：普遍性のある、転移できる知識

価値的な知識とはわけて考えてもいいのでは

自分が持っている価値に気づくこと 自分の当たり前を問い直す

答えのない世の中になったからこそESDは大事だ

本当に考えようとする児童生徒 先生の役割

葛藤させる モラルジレンマ

当たり前を問い直し、自分で考える姿勢を育てる

子どもを主体的にするには

見方・考え方は働かせるモノ

その人なりの見方・考え方で、知識の価値付けが変わる

価値付けのところで対話を促す

中澤 敦子 から自分に: (プライベート) 09:00 PM

鈴木さんて、奈良出身？

自分から 中澤 敦子 に:: (プライベート) 09:02 PM

東京の人

中澤 敦子 から自分に: (プライベート) 09:02 PM

了解